

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

521-574

事務事業名	地方道路交付金事業(小学校中村線)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	建設部	課等名	土木課		包含する細々目	1	8	2	3	11	6	35,000
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり											
施策	44 交通機関と道路の充実											
実施区分	18新規	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等						
		事業期間	18	年度~	20	年度						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	通行車輛、対象路線の通行者	通学児童数(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			198	198		
		自動車交通量(台/日)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		最終目標達成年度
			1402	2227		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
歩車分離による通過交通の安全確保。	進捗率(事業費ベース%)	18目標	32	最終目標		
		18実績	32	19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	
		18目標		最終目標		
		18実績		19目標	↑	
		23目標		23実績	最終目標達成年度	

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	本路線は、三日市場・中村地区の生徒が伊賀良小学校へ通学する指定道路であるが、現在、車道幅員も狭い上に歩道もなく、毎日生徒が危険な状況にある。このため、早期に改良を行い、歩行者・通行車両の安全を確保するものである。 市道1-34号小学校中村線 L=200m W=5.5(8.75)m	市道1-34号小学校中村線 ・工事施工 ・用地補償	施工延長	L=40m
	18年度の実績			
	19年度計画	市道1-34号小学校中村線 ・工事施工 ・物件補償	施工延長	L=50m

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源	5,500	19,250
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源	4,500	15,750	
事業費計(A)	10,000	35,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 400	19年度 400
	臨時職員等所要時間	12	12
	人件費計(B)	1,443	1,443
	トータルコストA+B	11,443	36,443

特定財源内訳や補足事項	地方道路交付金事業(補助55%)
-------------	------------------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	歩車道分離による、スムーズな交通の確保(利便性の向上)と安全性の向上 便利で安全に移動ができる	市内の移動に不便を感じる市民の割合(道路)	現状値	52.3	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)	市内の移動に不便を感じる市民の割合(交通機関)	現状値	37.6	19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標		

<p><b>この事業を開始したきっかけ</b></p> <p>三日市場・中村地区の生徒が伊賀良小学校へ通学する指定道路であるが、現在、車道幅員も狭い上に歩道もなく、毎日生徒が危険な状況にある。このため、早期に改良を行い、歩行者・通行車両の安全確保を図るため。</p>	<p><b>事業を取り巻く状況の変化</b></p> <p>平成17年に、本路線に交差する街路熊野殿岡線が国道153号線まで開通となり、交通量が増加しており改良が急がれる。</p>	<p><b>事業に対する市民や議会の意見</b></p> <p>地元自治会・PTAから強い要望がある。</p>
---	--	---

**【See】18年度の振り返り**

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	<p>(評価) <b>結びつく</b> (その理由)</p> <p>歩車道分離による、スムーズな交通の確保(利便性の向上)と安全性の向上</p>	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	<p>(評価) <b>余地がない</b> (その理由)</p>
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>通行車輛、歩行者は事業計画時と変わりが無い。</p>		廃止・休止した場合の影響はありますか？	<p>(評価) <b>影響あり</b> (その理由)</p> <p>歩行者・通行車輛の安全が確保されない。</p>
	意図の見直しの必要性はありますか？	<p>(評価) <b>必要性がない</b> (その理由)</p> <p>歩車道分離により、歩行者・通行車輛の安全が確保される。</p>		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	<p>(評価) <b>類似事業なし</b> (類似事業名、理由)</p>
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	<p>(評価) <b>必要ある</b> (その理由)</p> <p>幹線市道である。</p>		効果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	<p>(評価) <b>不可能</b> (その理由)</p> <p>効率的な事業計画と、最小限の人員にて対応している。</p>
			公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	<p>(評価) <b>妥当である</b> (受益者とその理由)</p>

**【Plan】改革改善**

<p><b>今後の事業の方向性</b></p> <p><input type="checkbox"/> 終了  <input type="checkbox"/> 廃止  <input type="checkbox"/> 休止  <input type="checkbox"/> 目的見直し  <input type="checkbox"/> 別事業に統合  <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善  <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <span style="color: green; font-weight: bold;">→</span> <b>具体化</b></p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p><b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b></p> <p>計画的に事業を進める。</p>
--	---

**【補足事項環境側面】**

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

**【指摘事項】**

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	